

1 令和2年度の教育目標

(1) 本校の教育目標

弥富市の学校教育基本方針を受け、本校の教育目標を「児童のすぐれた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましい人間の形成」とする。

そのため、校訓を「正しく やさしく たくましく」とし、その具現化を目指す。

<校 訓>	<目指す児童像>
正 し く ………	真理を求め よく考え実践する子
やさしく ………	礼儀正しく おもいやりのある子
たくましく ………	心身ともにたくましく がんばる子

(2) 経営方針

「共に育ちましょう（共育）」の発想を全ての教育活動の基本姿勢とし、常に学び合い、高め合い、夢と情熱が語れる教師集団でありたい。

ア 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、質の高い学びの実現に努める。

イ 心の教育の充実に努める。

ウ 健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、さまざまな場面での正しい判断力を養う。

エ 信頼される魅力ある学校づくり、職員が健康に教育活動に従事できる学校づくりを進める。

(3) 本年度の重点努力目標

児童の生きる力を育むために、学習指導要領の趣旨を踏まえた学力の充実に努めるとともに、「チーム学校」として、学校・家庭・地域社会が連携・協力して児童の豊かな人間性の育成を図る。

ア 深い学びを実現するために

- ・ 校内現職教育の充実に努め、授業力・指導力の向上に努める。
- ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、全ての児童に有効な支援を工夫する。
- ・ ICT環境を整え、ICTを活用した学習活動の充実に努めるとともに、プログラミング的思考力の育成に努め、情報活用能力を高める。
- ・ 外国語科や外国語活動の指導を通して、国際社会を担う児童の育成に努める。

イ 心の教育の充実に努めるために

- ・ 学校行事や異学年集団での活動を通して、一人一人の良さを認め合い、相手のことを理解しようとする気持ち（人権意識）を育てる。
- ・ 「特別の教科 道徳」の指導方法を工夫し、「道徳的に向き合い、考え、議論する」道徳教育を実践する。
- ・ 地域との交流の場を多く設定し、この地域に誇りをもち、学校・地域を愛する心を育てる。
- ・ 「時を守る」を大切にし、「あいさつをする・はいと返事する・はきものをそろえる・人の話を目で聞く」と合わせて「学ぶ姿勢・構えの基本」とする。
- ・ 一人一人に寄り添い、一人一人を認める指導や支援を行い、児童の自己肯定感を高める。

ウ 健康的で安全な環境を作るために

- ・ 基礎的な体力を養う場を多く設定するとともに、食に関する指導の充実に努め、運動に親しむ習慣や健康的な生活習慣を身に付けた児童の育成に努める。
- ・ 南海トラフ地震の到来に備えて、学校での備蓄を進めるとともに、さまざまな想定での避難訓練を行い、自己の判断で正しく行動することのできる児童の育成に努める。

エ 信頼される魅力ある学校づくりのために

- ・ 学校だよりや学校ホームページを充実させ、広く学校の情報を公開するとともに、家庭や地域社会の信頼と協調を得るように努め、開かれた学校づくりを進める。
- ・ 教職員一人一人のワーク・ライフ・バランスを十分配慮し、各職員が健康的に教育活動に従事できる環境を整えていく。